

## 語る「広場」

## 米中貿易戦争の行方



宮田光

論説委員が聞く



コラージュ・岡内誠

眞 前回の「中国の現状」で書いた通り、中国が世界の貿易で最も大きな影響力を持つことは間違いない。しかし、一方で、中国は世界の貿易で最も大きな影響力をもつたとしても、それが必ずしも世界の貿易を構成する要素であるとは限らない。つまり、中国が世界の貿易で最も大きな影響力をもつたとしても、それが必ずしも世界の貿易を構成する要素であるとは限らない。

## 日本は当事者意識を



日本総研理事 吳軍華さん

眞 絶対です。一言で評価すると、「中国の現状は世界の貿易で最も大きな影響力を持つ」と言えます。つまり、中国は世界の貿易で最も大きな影響力をもつたとしても、それが必ずしも世界の貿易を構成する要素であるとは限らない。つまり、中国が世界の貿易で最も大きな影響力をもつたとしても、それが必ずしも世界の貿易を構成する要素であるとは限らない。

眞 中国の現状は世界の貿易で最も大きな影響力を持つことは間違いない。しかし、一方で、中国は世界の貿易で最も大きな影響力をもつたとしても、それが必ずしも世界の貿易を構成する要素であるとは限らない。つまり、中国が世界の貿易で最も大きな影響力をもつたとしても、それが必ずしも世界の貿易を構成する要素であるとは限らない。

眞 中国の現状は世界の貿易で最も大きな影響力を持つことは間違いない。しかし、一方で、中国は世界の貿易で最も大きな影響力をもつたとしても、それが必ずしも世界の貿易を構成する要素であるとは限らない。つまり、中国が世界の貿易で最も大きな影響力をもつたとしても、それが必ずしも世界の貿易を構成する要素であるとは限らない。

眞 中国の現状は世界の貿易で最も大きな影響力を持つことは間違いない。しかし、一方で、中国は世界の貿易で最も大きな影響力をもつたとしても、それが必ずしも世界の貿易を構成する要素であるとは限らない。つまり、中国が世界の貿易で最も大きな影響力をもつたとしても、それが必ずしも世界の貿易を構成する要素であるとは限らない。

眞 中国の現状は世界の貿易で最も大きな影響力を持つことは間違いない。しかし、一方で、中国は世界の貿易で最も大きな影響力をもつたとしても、それが必ずしも世界の貿易を構成する要素であるとは限らない。つまり、中国が世界の貿易で最も大きな影響力をもつたとしても、それが必ずしも世界の貿易を構成する要素であるとは限らない。

眞 中国の現状は世界の貿易で最も大きな影響力を持つことは間違いない。しかし、一方で、中国は世界の貿易で最も大きな影響力をもつたとしても、それが必ずしも世界の貿易を構成する要素であるとは限らない。つまり、中国が世界の貿易で最も大きな影響力をもつたとしても、それが必ずしも世界の貿易を構成する要素であるとは限らない。